

# 離床センサー

vol.89 2016.10

# 現場レポート!



離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します!



群馬県・G病院 様

● 製品：座コール・ポケット

超音波・赤外線コール・ポケット

群馬県・G病院様の現場をレポート

2つのセンサーを使って対象者をダブルで見守られている事例を紹介します!



## 課題

車いすを使用するAさん。立ち上がりや部屋からの移動時に、見えない場所で転倒する危険性がありました。

## 対策

車いすから立ちあがる時に報知する「座コール」を座面に設置、また、人の動きを検知して報知する「超音波・赤外線コール」を部屋の出入り口の手すりに設置しました。

### 1 超音波・赤外線コール

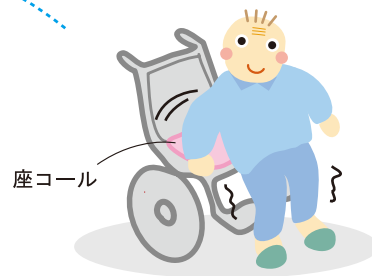
部屋から移動始めると…



ポケット受信器で報知

### 2 座コール

移動後に車いすから立ち上がり始めると…



## 効果

「超音波・赤外線コール」は、部屋から出ようとしていることや部屋へ戻ったことを報知、また「座コール」は車いすからの立ち上がりを報知するので、Aさんの行動や居場所が把握できるようになり転倒のリスクが軽減できました!



センサーをダブルで設置し  
転倒と徘徊対策!

群馬県G病院では対象者のADLを妨げずに自由な活動ができるように「できる限り自分の力で動ける体制」を看護方針に掲げられており、テクノスジャパンの離床センサーが大活躍しています!